

財務諸表の用語説明

貸借対照表の用語説明

用語		説明
貸借対照表		法人の財政状態を明らかにするために、会計期間期末(毎年度3月31日)における「資産」「負債」及び「純資産」を記載しています。
資産の部	固定資産	「有形固定資産」(土地や建物など)、「無形固定資産」(電話加入権など)に分類されます。
	減価償却累計額	償却資産(固定資産のうち建物や構築物、器械備品など)の減価償却額を積み上げたものです。
	流動資産	「現金及び預金」「1年以内に回収される債権」「棚卸資産」などです。
	貸倒引当金	未収金の徴収不能見込額です。
	棚卸資産	期末における薬品などの貯蔵品です。
	前払費用	保険料の前払分を計上しています。
負債の部	資産見返負債	市からの運営費負担金等により償却資産を取得した場合に計上される負債です。
	長期借入金	地方独立行政法人への移行後に借入れたもので、1年以内に返済予定のないものです。
	移行前地方債償還債務	地方独立行政法人への移行前に借入れたもので、1年以内に返済予定のないものです。
	退職給付引当金	将来の退職給付に備えるために計上する引当金です。
	資産除去債務	有形固定資産の取得等によって生じ、当該有形固定資産の除去に際して契約等で要求される法律上の義務です。
	未払消費税等	納付すべき消費税等のうち、未納付となっているものです。
	預り金	一時的に金銭の預かりをした額の期末残額で、職員からの預り諸税等です。
	賞与引当金	次期に支払われる予定の賞与のうち、当期の負担(当年度発生分)に属すべき額を計上するための引当金です。

損益計算書の用語説明

用語		説明
損益計算書		法人の経営成績を明らかにするために、一会計期間(4月1日から翌年3月31日)に属する「収益」とこれに対応する「費用」を記載し、当期における「利益」または「損失」を表示しています。
運営費負担金収益		市からの運営費負担金(不採算医療経費などに対する設立団体の負担金)による収益です。
資産見返～戻入		市からの運営費負担金等により取得した資産の減価償却または除却に伴って収益化されるものです。
経常利益 (または経常損失)		通常の業務活動から生じた利益(または損失)であり、「営業利益」(または「営業損失」)から「営業外収益」及び「営業外費用」を加減算したものです。
当期純利益 (または当期純損失)		一会計期間の最終的な純利益(または純損失)であり、「経常利益」(または「経常損失」)から「臨時損失」及び「臨時利益」を加減算したものです。
当期総利益 (または当期総損失)		「当期純利益」に目的積立金取崩額を加えた額です。この額は貸借対照表の「当期総利益」または「当期総損失」と同額になります。

経営・財務指標推移表

			第1期中期計画期間				第2期中期計画期間				第3期中期計画期間						
年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	備 考		
1	時間外救急車搬送受入率（％）		77.7	85.0	82.6	87.3	87.5	83.4	77.5	68.8	54.8	59.4	71.9	68.1	75.1	$\frac{\text{時間外救急搬送受入件数}}{\text{時間外救急搬送要請件数}} \times 100$	
	救急搬送受入件数（件）	時間内	1,370	1,436	1,399	1,324	1,285	1,216	1,376	1,138	950	960	1,427	1,417	1,181		
		時間外	2,952	3,184	2,706	2,584	2,369	2,404	2,478	1,779	1,594	1,892	2,753	2,699	2,321		
		計	4,322	4,620	4,105	3,908	3,654	3,620	3,854	2,917	2,544	2,852	4,180	4,116	3,502		
2	がん入院患者件数（件）		1,612	1,618	1,872	1,988	1,873	2,041	2,236	2,487	2,772	2,722	2,575	2,851	2,868		
	外来化学療法件数（件）		3,469	1,526	1,761	2,159	2,389	2,635	3,135	3,322	3,771	4,173	3,811	4,160	3,789	平成26年度診療報酬改定により算定要件が変わったため、それに合わせて算出	
	放射線治療患者数（人）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	264	256	243	250		
	がん手術件数（件）		632	669	638	668	614	635	851	813	890	875	795	1,106	944		
	がん診療地域連携バス実施件数（件）		－	－	－	－	－	3	25	18	23	13	13	7	4	がん診療地域連携バスとは、複数の医療機関が共通の治療計画書に従ってがん治療を行うシステムのこと	
3	回復期リハビリテーション病棟病床利用率（％）		－	－	－	－	－	35.0	73.3	75.1	84.0	76.0	72.9	76.4	80.8	$\frac{\text{年延回復期リハビリテーション病棟入院患者数}}{\text{年延回復期リハビリテーション病棟病床数}} \times 100$	回復期リハビリテーション病棟は、平成30年12月から稼働開始
	回復期リハビリテーション病棟在宅復帰率（％）		－	－	－	－	－	88.9	86.9	86.7	94.7	91.7	92.4	93.0	91.7	$\frac{\text{回復期リハビリテーション病棟から自宅等に退院した患者数}}{\text{回復期リハビリテーション病棟退院患者数}} \times 100$	
4	紹介件数（件）		－	－	－	－	－	16,849	19,827	17,286	17,181	18,272	19,383	20,373	20,300	紹介件数とは、当院を受診した患者のうち、他の医療機関から紹介による患者数のこと	
	逆紹介件数（件）		－	－	－	－	－	11,427	13,863	12,287	12,005	12,863	15,242	15,765	16,536	逆紹介件数とは、当院から他の医療機関に紹介した患者数のこと	
	紹介率（％）		44.3	45.3	47.2	59.4	54.8	61.0	70.1	70.7	72.1	81.3	87.1	87.7	89.3	$\frac{\text{紹介件数}}{\text{初診患者数}} \times 100$	
	逆紹介率（％）		63.3	67.3	72.0	76.2	55.4	61.2	57.7	65.0	70.0	77.1	104.1	91.9	93.0	$\frac{\text{逆紹介件数}}{\text{初診患者数}} \times 100$	
	地域連携バス実施件数（件）		－	－	－	－	－	18	120	126	120	92	117	119	128	地域連携バスとは、複数の医療機関が共通の治療計画書に従って治療を行うシステムのこと	

年度 項目		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	備 考		
5	地域の医療従事者へ向けた 研修会開催件数 (件)	-	-	-	-	-	27	31	6	7	12	14	16	18			
	地域の医療従事者へ向けた 研修会外部参加人数 (人)	-	-	-	-	-	596	543	86	239	237	157	145	132			
	共同利用を行った件数 (件)	-	-	-	-	-	3,355	3,718	3,105	2,945	3,144	3,209	3,540	3,783	共同利用とは、当院の医療機器を地域の医療機関に利用していただくシステムのこと		
6	助産師看護師離職率 (%)	-	-	-	-	-	6.4	3.7	3.0	8.6	8.7	6.9	8.2	8.5	$\frac{\text{当該年度退職者数(助産師看護師)}}{\text{当該年度平均正規職員数(助産師看護師)}} \times 100$		
7	経 常 収 支 比 率 (%)	100.0	106.4	99.9	97.7	97.4	80.5	92.5	102.5	110.4	112.1	95.5	97.1	96.6	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	病院の経常的な財政状況を示す指標。100%を超えると経常利益が発生している。	
	医 業 収 支 比 率 (%)	98.1	97.8	93.5	91.9	92.8	83.7	89.3	88.1	87.7	91.0	87.6	93.5	91.2	$\frac{\text{医業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	医業活動の収益性を示す指標。100%を超えると医業自体で利益が発生している。	
8	病 床 利 用 率 (%)	86.2	85.8	82.2	83.2	83.3	77.5	88.3	78.3	72.1	68.7	72.7	77.8	76.2	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	入院病床の利用効率を示す指標	
	1日当り患者数 (人)	入院	371.3	369.8	354.3	358.8	334.0	380.5	337.5	310.9	296.1	313.3	335.5	328.3	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年間日数}}$		
		外来	1,006.3	1,003.9	1,004.7	981.7	973.0	900.9	902.7	833.9	883.9	896.1	833.1	845.5	819.8		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$
	患者1人1日 当り収益(円)	入院 収益	49,390	51,483	50,617	52,181	51,411	54,718	57,733	64,389	69,855	75,591	72,119	72,014	72,622		$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$
		外来 収益	11,104	11,802	12,493	13,445	14,016	15,174	17,448	18,873	19,809	20,772	21,680	22,571	23,317		$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$
		医業 収益	26,451	26,534	26,332	27,745	27,890	29,995	34,174	37,030	38,084	39,733	40,814	41,949	42,849		$\frac{\text{医業収益}}{\text{(A)年延入院外来患者数}}$
		総収益	27,641	30,370	29,308	30,658	30,423	33,859	37,249	45,175	50,485	51,405	46,880	45,779	43,579		$\frac{\text{総収益}}{\text{(A)}}$
	新 入 院 患 者 数 (人)	-	-	-	-	-	9,099	10,460	9,393	9,140	9,060	9,615	10,505	10,451			
	手 術 件 数 (件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,617	3,843	3,930	3,946			
9	医 業 収 益 に 対 する 割 合 (%)	給与費	56.8	53.8	59.4	60.8	60.7	64.8	56.9	58.9	57.6	53.7	57.1	53.2	55.8	$\frac{\text{人件費}}{\text{(B)医業収益}} \times 100$	医業収益の中で給与費、材料費および経費が占める割合を示し、病院経営の健全性を見るための指標
		材 料 費	25.1	26.1	27.6	29.0	29.3	29.8	28.8	27.2	29.3	29.8	31.9	31.2	30.8	$\frac{\text{材料費}}{\text{(B)}} \times 100$	
		経 費	15.3	15.2	15.0	14.2	14.2	17.8	14.4	15.8	15.6	15.2	14.8	14.5	15.9	$\frac{\text{経費}}{\text{(B)}} \times 100$	

年度 項目		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	備 考	
	平均時間外労働時間数 (全職員) (時間/月)	-	-	-	-	-	18	16	13	13	12	11	11	9		
10	患者1人1日 当り費用(円)															
	薬品費	3,803	4,023	4,434	5,216	5,254	5,639	6,480	6,618	7,827	8,722	9,464	9,596	9,541	薬品費 (A)年延入院外来患者数	
	営業 (医業) 費用	26,955	27,132	28,159	30,187	30,051	35,818	38,256	42,043	43,407	43,642	46,595	44,859	46,987	営業費用(26年度以前は医業費用) (A)	
	総費用	27,634	28,554	29,294	31,391	31,261	43,927	43,070	45,683	45,703	45,872	51,401	47,129	49,337	総費用 (A)	

(注1) 計数の算出基礎となる金額は税抜きによるものです。

(注2) 平成26年度から地方独立行政法人に移行したことにより会計基準が変更されたため、収益および費用の一部の項目については平成25年以前と平成26年度以降で計上方法が異なります。

(注3) 新たに中期計画の目標指標となった項目について、目標指標になる以前の数値は「-」で表示しています。